

小松崎 ふみよし

政策ジャーナル Journal



45号

行動派宣言

KOMATSUZAKI, FUMIYOSHI
2014

みなさんの広い意見を募集しております。

ごあいさつ

今年2月1日から実施されている、家庭用“燃えるゴミ”の袋の有料化について経緯や変更点について考えます。従来は1袋6円（45L）でした。当初執行部は1枚45円（45L）を提案し、私の所属する自由民主党の会派では1枚22円（45L）円を主張しましたが、お互いに譲歩して実際には1枚36円（45L）になりました。その際に条件として以下の2点も認めさせました。

- ①紙おむつ等使用世帯《幼児（3歳未満）や高齢者（支給対象者）》⇒ 可燃ごみ用指定袋20ℓを一定枚数支給（申請により）
 - ②枝草（剪定枝）は無料の袋（従来の半透明の袋でも可）に入れていいことになりました。
- この他に袋の‘かさ’が増えるプラスチック製容器包装の回収は残念ながら認められませんでした、しかしこの2点が認められることにより1枚28円（45L）程度になると判断し譲歩しました。一方国費の補助が拡充されると予想されることから、プラスチック製容器包装の分別・再資源化の早期の実施を要望し続けます。また不法投棄対策を徹底させます。

ごみの処理にかかっている経費とは・・・

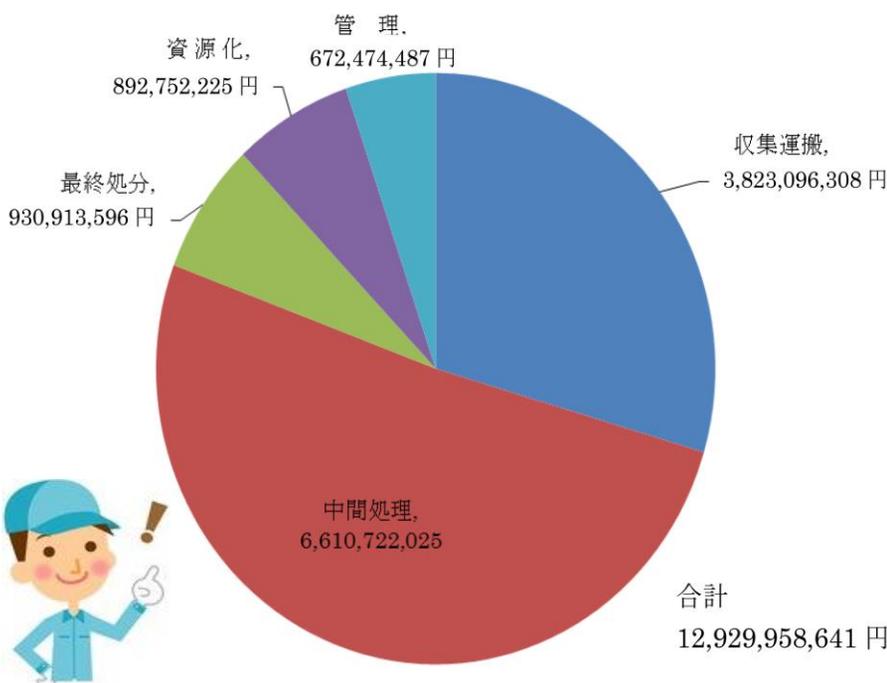
全体で129億円（もともと我々の税金です。）かかっているうちの収集運搬の38億円の内の約7億円（見込み）が有料（受益者負担）になります。少量の方とたくさん捨てる方の均衡が図られ有料化というより均等化が図られます。

平成24年度/部門別ごみ原価/積算表（環境省による一般廃棄物会計基準）

単位：円

| 年度 | 区分 | 収集運搬 | 中間処理(a) | 最終処分(b) | 資源化(c) | 管理 | 合計 |
|--------|--------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 平成24年度 | 部門直接原価 | 3,823,096,308 | 6,610,722,025 | 930,913,596 | 892,752,225 | 672,474,487 | 12,929,958,641 |

*部門直接原価には、物件費、人件費のほか、減価償却や公債利子に係る経費も含んでいる。



| | |
|------|--|
| 収集運搬 | 家庭から出る可燃ごみ、不燃ごみ、びん・缶・ペットボトルなどの資源物を、回収場所であるごみステーションから収集車で集め、清掃工場やリサイクルセンターなどへの運搬。 |
| 中間処理 | 収集した可燃ごみを清掃工場で焼却することや、不燃ごみ・粗大ごみをリサイクルセンターで破碎処理や圧縮処理を行い、埋め立てられるようにする作業。 |
| 最終処分 | 清掃工場で可燃ごみを焼却した後に出る灰や、リサイクルセンターで破碎処理や圧縮処理を行った不燃ごみ・粗大ごみなどを埋め立てること。 |
| 資源化 | 収集したビン・缶・ペットボトルなどの資源物をリサイクルするため、リサイクルセンターなどで選別したり、圧縮したりする作業。 |
| 管理 | 管清掃工場やリサイクルセンターの運営、ごみ処理に関する計画の策定など、ごみ処理全体に関わる業務。 |

小松崎ふみよし・プロフィール

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒業(現在、評議員)
千葉市立山王小学校卒業
千葉市立積橋中学校卒業
千葉県立千葉北高等学校卒業
(現在 同窓会副会長)

法政大学法学部法律学科卒業
(現在、校友会千葉中央支部常任幹事)
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書にて退職
千葉市議会議員(稲毛区選出)2期当選
総務委員長
自民党千葉市連青年局長

千葉市第37地区町内自治会連絡協議会顧問(山王中学校区)
千葉市少年軟式野球連盟顧問
稲毛区少年軟式野球連盟顧問
千葉市アーチェリー協会会長

事務所

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話：043-424-0001 FAX：043-421-6667
E-mail：fumi-yoshi@joy.hi-ho.ne.jp
事務所開設時間【水・金】10:00-12:00
【水】13:00-16:00

(不在時は小松崎本人の携帯に転送されます)
お問合わせ・ご意見お待ちしております。



家庭ごみ手数料徴収について

1、導入理由と目的

家庭ごみの排出量の削減及び再資源化の推進を図り、焼却ごみを削減するとともに、2清掃工場での稼働体制に移行することにより、老朽化している清掃工場の建て替え猶予が出来ることで、建設費や維持管理費をゆっくり支出することが出来るようになり、縮減される。

また、焼却処理量 H28 目標値 **254,000 トン** に対し、H24 末時点で **264,640 トン** まで削減、残り **11,000 トン** まで削減できたところですが、削減量が年々減少してきたため、**早期に焼却処理量の削減**に有効な施策が必要あることから、「家庭ごみ手数料徴収」を導入し、焼却ごみ量の早期削減を図ります。

手数料徴収の目的

- (1) 家庭ごみ排出量の削減及び再資源化による環境負荷軽減及び環境対策の推進
- (2) 排出量に応じ手数料を徴収することによるごみ処理費用負担の公平性の確保
- (3) 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進に向けた市民の意識の向上
- (4) 焼却ごみ削減による将来の清掃工場建設費及び維持管理費の削減



2、併せて実施する施策

- ごみ収集における市民サービスの向上 ⇒ 資源物・不燃ごみの祝日収集
- 高齢化社会に対応した支援 ⇒ 高齢者等のごみ出し支援（高齢者、障害者に対するごみ出し活動の補助）
- 自治会等における環境美化活動の支援 ⇒ ごみステーションの管理支援等（ステーション管理の活動費用の補助）
- 新たな資源化品目分別収集の実施 ⇒ 使用済み小型家電の再資源化（各区役所等に専用ボックスを設置（拠点回収））
- 手数料徴収制の実施に伴う不法投棄増加の懸念 ⇒ 不法投棄・不適正排出対策

不法投棄の監視の強化内容

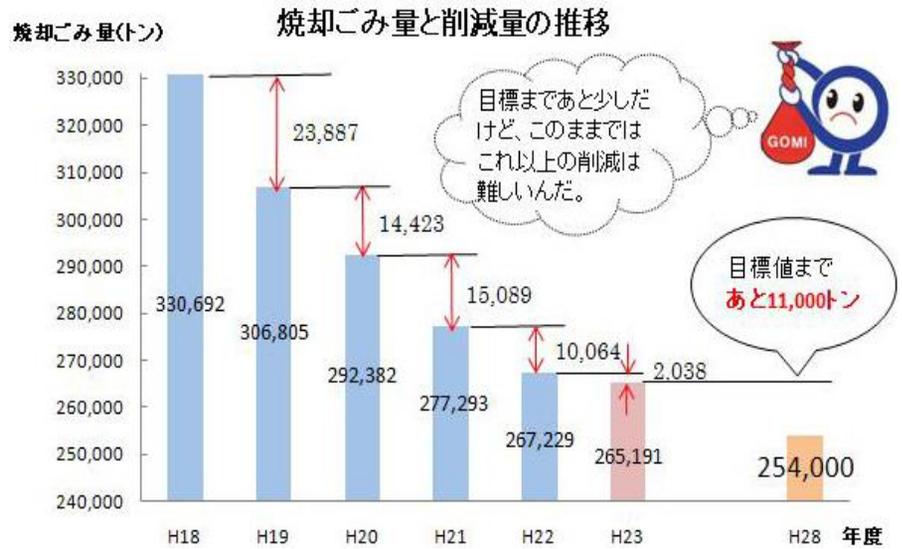
- (1) ステーションでの対策
 - ・監視カメラ等の設置
 - ・不法投棄防止看板等の配布
 - ・不法投棄等防止監視パトロールの実施



- ① 監視パトロール：不法投棄が頻発する 150 ステーション 365 日（1:00～8:00 車両 2 台で実施）
- ② 定点監視：重点箇所 150 ステーションで延べ 450 回（廃棄物適正化推進員・不法投棄監視員による監視活動強化）

(2) ステーション以外での対策

夜間休日の監視パトロールの拡充：365 日
 (経常 200 日(平日夜間 100 日+休日 100 日)+臨時 165 日)



キリトリ線

アンケート： 市政について、稲毛区について気付いたこと、困ったことなど、皆様のご意見お待ちしております。

FAX 043-421-6667

